



環境経営レポート

2024年度

対象期間 2023年9月～2024年8月

発行日：2024年11月1日

改訂日：2024年12月5日



目 次

■ごあいさつ	2
■社内フレーズ	3
■行動規範	3
■会社概要	4
■環境取組体制	5
■環境経営方針	6
■中長期の目標	7
■環境経営目標と環境経営計画	8
■環境経営目標および環境経営計画の取組み結果	10
■代表者による見直し	14
■次年度の取組内容	15
次年度環境経営目標	
■環境法規等要求事項と遵守状況	16
■お問い合わせ・地図	17



ごあいさつ

当社は、平成4年の創業以来、特定メーカーに依存しない独立系の制作会社として、工業製品に関するマニュアル・カタログの制作業務を一貫して行ってきました。独立系であるが故の厳しい時期もございましたが、それ以上に、さまざまな分野の多種多様な工業製品のマニュアル・カタログ制作業務に携わることができた経験は、当社にとって貴重な財産となっております。

このような貴重な経験を活かし、現在当社ではマニュアル・カタログ制作の現場へ向けた最適な「仕組み」の提案を行っております。それは、マニュアル・カタログ制作において「継続的、かつ全体的な品質と生産性の向上」を実現するための、制作現場からの効果の見える具体的提案です。

あくまでも現場を第一に考え、そして現場から生まれる「品質向上と効率化」のアイデアを少しでも多くの方に知ってもらい、業務の問題解決、目標達成に役立てていただくこと、それが当社の存在意義であり、使命であると考えております。

時代や技術の進歩と共に、さらに新たな経験を積み重ね、当社にしかできない提案をこれからも発信し続けて行く所存です。
今後とも、ご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社プランツ
代表取締役

伊藤 雄治



社内フレーズ

考えよ！
「お客様のゴールを引き寄せるシゴト」
「私たちにしかできないサービス」

■ 私たちの仕事

仕事は、「他人(ヒト)と社会のために役立つ活動」でなければなりません。私たちの仕事は、信頼・尊敬できるお客様(企業)の活動を支援し、お客様(ご担当者)の業務目標を達成するお手伝いすることです。依頼された物件を確実に処理するだけでなく、プロフェッショナルとしての自覚と誇りをもって、今まで培ってきた知識や経験を十分に発揮し、「私たちにしかできないサービス」「私たちならできるサービス」を積極的に提案します。

行動規範

社会との関係

企業活動のあらゆる場面において法令の遵守、社会のルールを尊重します。

お客様との関係

お客様の要望に対し、業務の目的(達成目標)を、誠実なコミュニケーションと強い信頼関係の構築により共有化し、満足と信頼をいただけるサービスの提供に最大限の努力をします。

取引先との関係

企業活動の目的をできる限り共有化し、信頼関係を構築します。
取引先の技術力、ノウハウを尊重し、オープンかつ公平な取引を実現します。

社員との関係

プランツスピリットを共有化した社員と共に、社員が企業の一員として連帯感をもち、それぞれが健康的に能力と活力を発揮できるような環境づくりを目指します。



会社概要

- 商号 株式会社プランツ
- 代表者 代表取締役 伊藤 雄治
- 資本金 10,000,000円
- 所在地 愛知県名古屋市東区東桜二丁目10番1号 ヤハギ東桜ビル3階
(2013年5月に愛知県名古屋市中区栄4-17-18川本ビル5階から移転)
URL : <http://www.plants.co.jp/>
- 事業規模
 - 売上高 141百万円 (2024年度)
 - 従業員数 10名 (2024年8月現在)
 - 社屋 本社 177 m²
- 事業内容
 - ドキュメントソリューション部門
(ドキュメント制作のプロセス構築、アプリケーション開発ほか)
 - テクニカルコミュニケーション部門
(企画・構成、ライティング、基準書制作、各種DTPほか)
 - ビジュアルインターフェース部門
(カタログ・パンフレットのデザイン、コピー、イラストほか)
- エコアクション登録対象範囲
 - マニュアル・カタログ制作
 - デザイン
 - ドキュメントシステム構築



環境取組体制

●環境担当

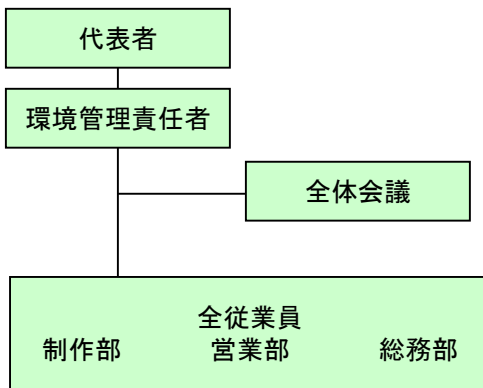
環境管理責任者 鈴木 フミ (総務)

TEL (052)930-5811 FAX (052)930-5815

e-mail : f_suzuki@plants.co.jp

環境保全に関する最重要事項を審議する場として、社長直轄の「全体会議」を設け、本会議で決定された方針は社員全員に展開を図っています。

エコアクション登録対象範囲



役割・責任・権限

代表者(社長)

- ・環境経営方針の策定
- ・環境推進責任者の任命
- ・代表者による全体の評価と見直しの実施
- ・年間の評価および見直しを説明する全体会議の招集

環境管理責任者

- ・環境経営システムの構築、実施、管理の責任者
- ・環境経営目標・環境経営計画の承認
- ・環境経営の管理状況を代表者へ報告
- ・活動に必要な目標数値、評価の周知・連絡
- ・環境に関わる苦情、ビル管理からの情報を周知・連絡
- ・環境経営レポートの作成

全体会議

- ・一年の環境経営活動の取組み結果の報告

全従業員

- ・環境経営方針の理解と環境経営の取り組み



会議風景

環境経営方針

基本理念

株式会社プランツは、地球環境問題が次世代へ引き継ぐべき人類共通の最重要課題のひとつであることを認識し、情報媒体の企画・制作サービスの企業活動を通して、環境保全と改善に向けた取り組みを継続的に推進し、地球環境に優しいドキュメントソリューションを提供します。

環境経営方針

培った知識と新たな技術を融合し、社内外に「環境に配慮した制作プロセスの提案」をし、環境負荷の低減を行います。

構築した環境マネジメントシステムを今後も維持活用し、持続可能な開発目標の実現に寄与できることを目指します。

◇ 行動指針

1. 環境関連法規則の遵守
関連する環境の法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、環境マネジメントシステムの継続的改善を実施します。
2. 省エネルギー・省資源の推進
電力、燃料等のエネルギー有効活用の改善活動に取り組むとともに、紙使用量の削減等により、省資源を進めます。
3. 環境に配慮した制作プロセスの提案
作業の標準化による業務の効率化など、制作プロセスのIT化を通して環境負荷の低減に貢献する提案活動を社内外に広く実行します。
4. グリーン製品の購入
コンピュータ製品をはじめ、社内で使用する機器や用品について、グリーン製品の積極的な購入を図ります。
5. 環境啓発活動の展開
社員一人ひとりが環境負荷低減活動を主体的、自立的に実践できることを目的として、全社員に対して環境に関する啓発活動を行うとともに本環境経営方針を一般に公開します。

平成30年11月1日制定
株式会社プランツ
代表取締役 伊藤 雄治

中長期の目標

ガスの使用はありません。

年度:9月から翌年8月まで

2024.12
改訂

電力、ガソリンの基準年度を2016年度とし、電力は中部電力による2022年度の二酸化炭素排出係数0.424を用いて2016年度の排出量を計算し、作成した。

環境経営方針	担当部門	項目	基準年度(2016年度)	年次	2023年度	2024年度	2025年度				
省エネルギー 省資源の推進	総務部	電力使用量	負荷量		基準年度比		93%	92%	91%		
			18,707	kWh	目標値	17,398	kWh	17,210	kWh	17,023	kWh
			7,932	kgCO2		7,377	kgCO2	7,297	kgCO2	7,218	kgCO2
		ガソリン使用量	負荷量		基準年度比		93%		92%	91%	
			1,703	リットル	目標値	1,584	リットル	1,567	リットル	1,550	リットル
			3,953	kgCO2		3,676	kgCO2	3,637	kgCO2	3,597	kgCO2
		二酸化炭素 総排出量	負荷量		基準年度比		93%		92%	91%	
			11,885	kgCO2	目標値	11,053	10,934	10,815			
		水資源の有効活用 (節水)	数値目標による 管理は行わない		水の流しっぱなしなどムダ使しない。						
			紙資源の有効活用	2013年度 2.5kg/売上(百万円)	基準年度比		95%	94%	93%		
目標値	2.37				2.35	2.33					
廃棄物の 分別による 再資源化	2016年度 85%資源化率	目標値	90%	90%	90%						
グリーン 製品の 購入	事務用品のグ リーン購入	2009年度に 100%を達成している	目標値	グリーン化率100%を維持する							
環境に配慮し た 制作プロセス の提案	制作部	環境配慮型 制作プロセス の普及促進	目標値	提案8件(社員一人一件の提案)							

* 2020年度からは営業活動を活性化しガソリン使用量増加を想定し、原単位での数値目標を取り入れることになった。

しかし、コロナ禍で訪問による営業活動が阻まれており、売り上げへの影響が無いと判断し、2023年度から原単位は廃止することになった。

* 紙資源の有効活用における売上高は、各年度の売上高を使用。

* 紙資源の基準年は2013年。2016年度は異常に数値が良かったため、基準にはできないと判断した。

* 水資源の有効活用は、ビルの1テナントのため、水量把握ができないため、定性的表現とした。



環境経営目標と環境経営計画

※ オフィス内の事務作業のみで化学物質の使用はないため、「化学物質使用量の削減」については環境経営目標の設定はしていない

1. エネルギーの削減 2024年度削減目標：10,934kg・CO2以下

環境負荷の実態から、二酸化炭素排出量(CO2排出量)の削減が重要なテーマと考え、CO2排出量削減目標として下記の内容を設定。

＜環境経営計画＞

- ① 車両燃料の節約(営業車の効率的運行や公共交通機関の利用)
- ② アイドリングストップの励行
- ③ 事務所における空調の室温設定(夏季27度 冬季20度)
- ④ 昼休みの事務所内消灯、冬季正午から2時間の暖房の一時停止。
- ⑤ OA機器の不使用时の停止。
- ⑥ 夏季の軽装、冬季の重装

2. 紙の使用量削減 2024年度削減目標:2.35kg/百万円

顧客に対する納入品について、電子データによる納入比率を向上させることで、紙の使用量削減を図る。

＜環境経営計画＞

- ① 校正出力やチェック用出力の2in1出力を実施する。
- ② 大量出力の事前届出

3. 上水の使用量節水 2024年度削減目標:節水に努める

水も重要な資源と考え、上水の節水目標として下記の内容を設定する。
テナント共同使用のため、定性目標とした。

＜環境経営計画＞

- ① ビル共用部での水使用に水の流しっぱなしがないよう、社員に注意を呼びかける。



環境経営目標と環境経営計画

4. 廃棄物の分別による再資源化 2024年度再資源化目標:90%

<環境経営計画>

- ①分別箱の設置と社員への啓蒙活動推進。
- ②コンビニの弁当など、個人で持ち込んだゴミは個人で処分することを徹底。

5. グリーン購入適合物品の調達 2024年度目標:調達比率100%の維持

コピー用紙およびCD/DVDのグリーン調達適合商品の採用

<環境経営計画>

- ①購入時にはグリーン購入適合物品を選択し、100%購入率の維持をする。
- ②パソコン等購入の際に環境配慮型の採用。(間宮担当)
- ③大容量サーバーの活用。

6. 環境に配慮した制作プロセスの採用実績の向上 目標:提案8件

<環境経営計画>

環境に配慮した制作プロセスを8件提案する。(社員一人につき1件が目標)



環境経営目標および環境経営計画の取組み結果

1. エネルギー削減

項目	単位	換算値 kg・CO2 (×)	2022年		2023年		2024年	
			使用量	CO2排出量 kg・CO2	使用量	CO2排出量 kg・CO2	使用量	CO2排出量 kg・CO2
電気	kwh	0.424	16,320	7,376.6	14,805	6,277.3	15,721	6,665.7
ガソリン	ℓ	2.3216	831.9	1,931.4	805.6	1,870.4	703.7	1,633.8
合計				9,308		8,148		8,300

※2016年度を新しい基準年として中長期計画を作成した。(ガスの使用は無し)

※2016年度の電気係数を0.424で算出しなおした。

<環境経営計画の実施結果と評価>

総排出量目標: 10,934kg・CO2以下 実績: 8,300kg・CO2 → 達成

- ① 車両燃料の節約(営業車の効率的運行や公共交通機関の利用)
- ② アイドリングストップの励行
- ③ 事務所における空調の室温設定(夏季27度 冬季20度)
- ④ 昼休みの事務所内相当、冬季正午から2時間の暖房の一時停止。
- ⑤ OA機器の不使用时の停止。
- ⑥ 夏季の軽装、冬季の重装

事務所内が均等にエアコンが効かないため、個人で使用する扇風機やヒーターがある。ヒーターについては消し忘れて火事の恐れもあるため、使用の際にはタイマーで最長2時間に設定しており、これが地味ながら電気の長時間使用を予防している。



■ 環境経営目標および環境経営計画の取組み結果

2. 紙の使用量削減

<環境経営計画の実施結果と評価>

目標: 2.35kg/百万円 実績: 0.9kg/百万円 → 達成。

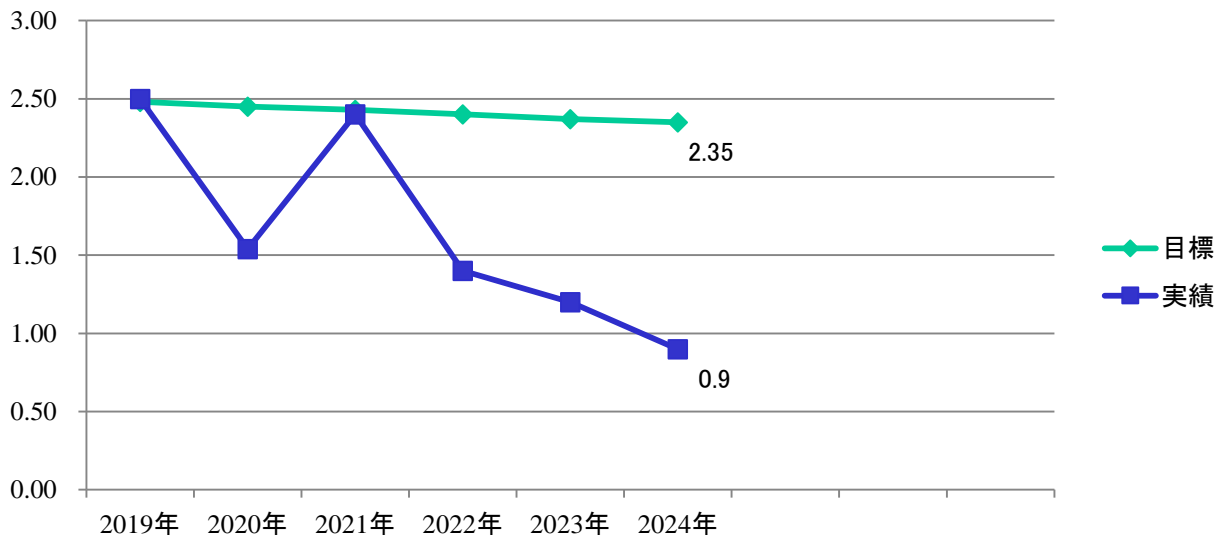
①校正出力2in1

②大量出力事前届出

その他:

今年度もクレーム処理のための全ページ出力での確認は無かった。

今年度は2件の大量出力が報告された。そのうち1件は例年の大量の紙出力が必要な業務であった。



3. 上水の節水活動

<環境経営計画の実施結果と評価>

目標: 節水 実績: できたと評価

節水行動

ビルテナントのため数値管理は省いている。2013年5月の事務所移転に伴い、社内での水の使用がなくなり、ビル共用部での使用になるため節水ステッカーの使用は廃止する。ビル共用部での無駄な水の流しっぱなしがないよう各自気を付ける。

■ 環境経営目標および環境経営計画の取組み結果

4. 廃棄物の発生抑制と再資源化

＜環境経営計画の実施結果と評価＞

目標:再資源化90% 実績:月平均83% → 達成ならず。

週一度の掃除を行い、不要なものを溜め込まない快適なオフィスを保つことを心掛けている。

分別については社内に(1)可燃ごみ、(2)プリンタ出力紙(客先要請により溶解処理)、(3)チラシ等の雑紙に分別する。不燃ごみは少ないので、箱の常設はせず、年末掃除の時に1回で回収することとする。

再資源化目標値90%に対して、結果は83%、目標が達成できなかった。

紙の使用量も減少、資源化できる廃棄物の量も減っているのも、それ自体は良いことであるが、再資源化率の達成には厳しい状況となっている。

再資源化目標値90%は2025年度にも引き継ぐが、その結果によっては別の側面からの目標設定も考えてみる。



プリンタ出力紙とチラシ類の回収箱



事業系ごみの分別



■ 環境経営目標および環境経営計画の取組み結果

5. グリーン購入適合物品の調達

目標:調達比率100%維持 実績:調達比率100%維持 → 達成。

2009年度にグリーン購入適合物品の調達比率100%を達成し、その後も維持している。

6. 環境に配慮した制作プロセスの採用実績の向上

目標件数:8件以上に対し、提案件数:9件で目標値をクリアしました。

多くは社内の生産性を向上させるものでしたが、全社員からの提案報告があった点を、環境に対する意識の表れとして、目標件数達成とともに評価します。

- QRコード貼り間違いを防止するInDesignスクリプトの運用
- 開発サーバーの自動起動と停止
- 源泉徴収税額の自動計算
- 斜めの寸法の自動角度設定による配置
- 作業見積算出用エクセルの運用
- 編集作業のスクリプト代替
- UI用語作業の効率化
- Wordからの材料抽出の自動化
- すべて無視SWの押下による重複単語のスキップ



代表者による見直し

	見直しの実施	変更
・環境経営方針	○	なし
・環境経営目標および環境経営計画	○	なし
・実施体制	○	なし

SDGsに基づいた活動方針

今年度より、SDGsを指針とした取り組みを宣言しました。
 宣言内容は、作業場入り口にポスターとして告知しています。
 以下の太字下線事項については、環境マネジメントシステムとリンクさせて実践したいと思えます。

- ・ **ペーパーレス化とデジタルドキュメントの推進**
紙の使用を削減し、デジタル化を進めて環境保護に貢献します。
- ・ **社内ジェンダー平等の推進** 性別に関わらず平等な職場環境を整備します。
- ・ **エネルギー効率の改善**
省エネ技術を導入し、エネルギー使用を最適化します。
- ・ **長期的なキャリア形成支援**
社員のスキル向上を支援し、長期的な成長を目指します。
- ・ **健康的な職場環境の提供**
社員の健康を守り、働きやすい職場環境を提供します。
- ・ **クライアントへの持続可能な選択肢の提供**
サステナブルな提案を行い、クライアントと共に持続可能な未来を創ります。

**持続可能な未来に向けた
私たちの取り組み**

株式会社プランツは、コンテンツ制作を通じて持続可能な未来の実現に貢献しています。環境に配慮した業務プロセスや、社会に対する責任を果たすため、SDGs (持続可能な開発目標) を指針に、さまざまな取り組みを行っています。
株式会社プランツは、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

具体的な取り組み

- ペーパーレス化とデジタルドキュメントの推進**
紙の使用を削減し、デジタル化を進めて環境保護に貢献します。
- 社内ジェンダー平等の推進**
性別に関わらず平等な職場環境を整備します。
- エネルギー効率の改善**
省エネ技術を導入し、エネルギー使用を最適化します。
- 長期的なキャリア形成支援**
社員のスキル向上を支援し、長期的な成長を目指します。
- 健康的な職場環境の提供**
社員の健康を守り、働きやすい職場環境を提供します。
- クライアントへの持続可能な選択肢の提供**
サステナブルな提案を行い、クライアントと共に持続可能な未来を創ります。

右記は作業場入り口に掲載したポスターです。



■ 次年度の取組内容

当社のエコアクション21活動は、以下4本の柱で進めます。

- ①エネルギー（電気・ガソリン）の削減
- ②紙の使用量の管理
- ③廃棄物の削減・資源化
- ④環境に配慮した制作プロセスの提案

【継続指示（環境経営計画から重点事項の抜粋）】

- 昼休みの消灯。
- 冬期のエアコン2時間OFFについては継続。（我慢はしない）
- 両面印刷や2in1機能を有効活用して無駄な紙の消費を削減する。
- 廃棄物の分別による再資源化については、分別ルールを徹底。
（DM等封筒類の分別を継続）
- コンビニの弁当など、個人で持ち込んだゴミは個人で処分することを徹底。
- 環境に配慮した制作プロセスの提案については8件（社員1名あたり1件）以上とする。



環境法規等要求事項と順守状況

適用法令・条例一覧と順守状況

1. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

同上 施行規則

名古屋市条例 名古屋市産業廃棄物等の適正な処理および資源化の促進に関する条例

名古屋市条例 名古屋市廃棄物の減量および適正処理に関する条例

名古屋市条例 名古屋市空き缶などの散乱の防止に関する条例

要求事項 廃棄物の適正処理、発生抑制、再資源化推進、再利用、廃棄物保管場所の設置、
再利用品保管場所の設置、適正処理の情報提供、国、県、町の施策への協力

2. 地球温暖化対策の推進に関する法律

要求事項 温室効果ガスの発生抑制、行政の施策に協力

3. 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律

要求事項 オゾン層破壊物質の適正な回収・処理と、排出防止

4. 名古屋市条例 市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例

要求事項 自動車の駐停車時、従業員へ原動機を停止するよう指導

駐車場内において自動車の原動機を停止すべきことを周知するための措置

アイドリングストップの励行

5. 業界 取引先様からのグリーン調達ガイドライン

要求事項 環境管理システムの構築、環境パフォーマンスの向上

6. 自治体 事業者向け名古屋市グリーン購入ガイドライン

事業者向け3Rガイドライン

要求事項 環境に配慮した製品およびサービスの優先的な購入と有効的な利用

事業者の1Rから3Rへの取組みの発展と、ゴミ減量の実践行動

7. 名古屋市事業系ごみ分別 家電・事業系産業廃棄物のリサイクル回収

要求事項 リサイクル回収の手続きを取り、適切に処理する。

8. 省エネ法

要求事項 判断基準の遵守(管理標準の設定、省エネ措置の実施等)

9. 消防法

要求事項 消防設備の設置(ビル管理で設置済)

適用関連法令への違反・訴訟等の有無

当該環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、
過去3年間ありません。



お問い合わせ・地図



461-0005 愛知県名古屋市東区東桜二丁目10番1号ヤハギ東桜ビル3階
TEL : 052-930-5811
FAX : 052-930-5815
URL : <http://www.plants.co.jp/>
問合せ : info@plants.co.jp

地下鉄「高岳」駅4番出口を出て左手に歩いて3分ぐらいで第二富士ホテルに着きます。その手前のビル3階が弊社です。